

公開シンポジウム

# 洋上風力発電の課題と展望

洋上風力発電は、地球温暖化の防止や海洋域の有効活用の観点から、世界中で活用が推進されている海洋自然エネルギーの一つです。一方、欧州における先行研究から、洋上風発は生物に潜在的なものも含めて多くの影響を及ぼすことが指摘されています。

現在、村上市沖付近で大規模な洋上風力発電の建設が予定されていますが、粟島にはオオミズナギドリ等の繁殖地が、笹川流れにはウミネコの繁殖地が存在します。

本シンポジウムでは、生態系への影響をどう評価できるか？影響を最小限にする設置場所とは？洋上風力発電の影響について科学的な視点から議論します。この問題に興味ある皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

○基調講演（13:10～）

平成28年12月4日（日）

13:00～18:00（受付12:30～）

新潟大学 ライブラリーホール

〒950-2181

新潟市西区五十嵐2の町8050番地



関島 恒夫 新潟大学 教授  
日本の風力発電の現状と課題について



浦 達也 日本野鳥の会 主任研究員  
風力発電が鳥類に与える影響と課題



風間 健太郎 北海道大学 研究員  
洋上風力発電が海洋生態系におよぼす影響



望月 翔太 新潟大学 助教  
オオミズナギドリの行動データより作成したアボイドマップについて

○パネルディスカッション（16:35～）

コーディネーター 山本 麻希 長岡技術科学大学 准教授

基調講演者 関島 恒夫、浦 達也、風間 健太郎、望月 翔太

ゲスト 白井 正樹 電力中央研究所 研究員

申込不要

参加無料

【主催・問い合わせ先】 NPO法人 新潟ワイルドライフリサーチ <http://wironkemono.com/>

〒940-2142 新潟県長岡市長峰町60-34 TEL:0258-86-0086 E-mail:info@wironkemono.com

【後援】 公益財団法人日本野鳥の会 生物多様性保全ネットワーク セナミスミレを育む会

新潟県自然・環境保全連絡協議会 新潟日報 村上野鳥の会

このシンポジウムは、日本海鳥グループによる海鳥保護基金の助成を受けて実施しています。